

遠隔医療基盤分科会・Infrastructure of Telemedicine SIG

分科会長 近藤 博史

協立記念病院

1. 分科会設立の目的

遠隔医療の基盤になる技術と規則を検討し、新たな技術による規則の見直し提言や、新たな規則からの技術の利用の提言を検討する。また、新たな技術、新たな規則の効果的、効率的な利用の促進のための広報を行なう。特に医療 DX に向けて、クラウド、人工知能も含めて検討する。また、近年の状況から特にセキュリティ、特にサイバーセキュリティに注力して活動する。

2. 分科会メンバー数 10 人

3. 令和 4（2022）年度の活動の実績と成果

厚生労働省の調査研究を行い、成果発表と情報収集を目的にシンポジウムの機会を得て以下の大会で開催した。日本遠隔医療学会学術大会、スプリングカンファレンス日本医療情報学会春季学術大会、連合大会のシンポジウムにて IPA の CSIRT 活動、ストレージ会社やネットワーク会社の情報を収集した。

また、近藤は日本放射線技術学会の教育講演、シンポジウムにて放射線部門の情報収集し、日本放射線学会電子情報委員会にて更新中の遠隔画像診断のガイドラインの反映させるよう活動している。これらの内容は関連の出版物等にて掲載されている。

4. 令和 5（2023）年度の活動の目標と計画

厚労省事業の調査研究が 2022 年度に終了し、サイバーセキュリティの攻撃側の確認、その対策の現状、実際の現場の問題の概要が見えてきた。サイバーセキュリティの対策としては、推奨される対策の現場への反映が中心になる。現場への反映は、日本遠隔医療学会の教育研修項目としても進める。

また、日々新たな①攻撃手法、②対策方法、③現場の問題情報の収集も必要であり、シンポジウム、アンケート調査の実施を考える。同時に厚労省の ISAC 活動と日本医療情報学会の医療ヘルスケアのサイバーセキュリティ対策と情報共有のあり方研究会とも連携して活動する。

分科会長連絡先：kondoh@tottori-u.ac.jp